

# 全日本リレーオリエンテーリング大会 愛知県チーム 選手選考 規程

## 第1条 参加資格と参加希望登録

- 1.1 全日本リレーオリエンテーリング大会に愛知県チームで出走しようとする全ての選手は所定のWEBフォームにより参加希望登録を行わなければならない。
- 1.2 参加希望登録は本人の了承のもとで代理の者が行うこともできる。参加希望者本人と登録を行った代理の者との間で生じたトラブルについて愛知県オリエンテーリング協会は責任を負わない。本人と代理の者から異なる内容の申告があった場合は本人の申告が優先される。
- 1.3 参加希望登録を行うことができるのは原則として愛知県オリエンテーリング協会に競技者登録済み(ふるさと登録、学連登録可)であることを日本オリエンテーリング協会ホームページの競技者登録名簿において確認できる選手とする。但し例外として、愛知県オリエンテーリング協会での競技者登録に同意し、競技者登録料の支払いを確約し、競技者登録に必要な全ての情報を所定のWEBフォームにより送付・送信した選手については競技者登録が未完了であっても参加希望登録を行うことができる。この例外措置の適用期間は大会の選手登録期限の前月の25日までとする。
- 1.4 前項の規程に関わらず、1.8項の(e)により応募資格を喪失中の者は参加希望登録を行うことができない。
- 1.5 参加希望登録の募集は2度に分けて行う。1度目の募集(1次募集)は全日本リレーオリエンテーリング大会開催日の100日前、2度目の募集(2次募集)は同大会のチーム数登録期限の3日前を締切(いずれも日本時間の24時必着)とする。1次募集と2次募集への併願は妨げない。
- 1.6 上記の締切日より前であれば参加希望登録の取り消しならびに参加希望クラスの変更は何度でも自由に行うことができる。
- 1.7 仕事等で帰宅が遅い選手のための特例措置として、募集締切を過ぎてから3時間以内の参加希望登録を監督の判断で許可することができる。この許可は個別判断ではなくWEBフォームによる自動処理とし、選手団WEBにおいて事前告知が行われる。この許可を行う場合、参加希望登録の取り消しならびに参加希望クラスの変更についても同様に本来の締切日の3時間後まで許可される。
- 1.8 締切を過ぎてからの各種変更の申し出は以下の通り扱う。
  - (a) 参加希望クラスの変更は認めない。
  - (b) 宿泊・交通等、選手権クラス参加資格者の決定とチーム編成に影響を及ぼさない変更は、サービス提供者(宿舍等)が容認する限りにおいて、又は必要なキャンセル料等を支払う限りにおいて認める。
  - (c) 選手権クラス参加資格者となった者について、参加の取りやめが認められるのは怪我・故障・病気または仕事・学業・冠婚葬祭との日程重複によって大会への参加が物理的に不可能となった場合に限る。

- (d) 選手権クラス参加資格者とならなかった者について、一般クラスや補欠選手としての参加の取りやめは県協会から大会主催者への申込前であれば、又は申込後であっても発生した参加料等を支払う限りにおいて認める。
- (e) 上記の規程において認められていない参加の取りやめ等を無断で、もしくは監督の制止にも関わらず強引に強行した者は、翌年以降の全日本リレーオリエンテーリング大会において愛知県チームへの応募資格を半永久的に失うものとする。この場合の応募資格の回復は再発の恐れが無いと判断されるか、又は規則の改訂によって本条項が廃止された場合に限る。

1.9 変更・参加取りやめの可否については1次募集・2次募集それぞれで独立に適用するものとし、1次募集に関わる変更・取りやめが2次募集期間内であるかどうかは関係しない。

## 第2条 選手権クラス参加資格者

2.1 1次募集・2次募集のそれぞれについて、締切日までに参加希望登録を済ませた選手の中から選手権クラスの参加資格者を選考する。

2.2 選考には以下の式で計算される選考ポイント  $P_s$  を用いるものとする。

$$P_s = \max\{P_r, P_r(1 - W_a) + P_a W_a\} \quad (1)$$

ここで  $\max$  は  $\{$  内の2つの値のうち大きい方を表し、 $P_r$  は「全日本リレーオリエンテーリング大会 愛知県チーム ランキング規程」に基づいて計算されるランキングポイント、 $P_a$  は同規程により計算される当該年度の愛知県選手権のポイント、 $W_a$  は愛知県選手権の重みを表す係数。

2.3 ランキングは参加希望登録締切日時点のものとし、締切日の2日前までにLapCenterに掲載されたイベントを使用して計算する。

2.4  $W_a$  は愛知県選手権開催テレインの地図精度に応じて以下の通り配点する。

- (a) 地図精度ランク A ( $W_a = 0.2$ ): 選考会開催日から遡って過去3年以内にプロ Mapper が調査した地図、又は過去3年以内にインカレ又は国際大会で用いられた地図
- (b) 地図精度ランク B ( $W_a = 0.15$ ): 2000年以降にプロ Mapper が調査し3年以上が経過した地図、又は2000年以降のインカレ又は国際大会で用いられ3年以上が経過した地図 (プロ Mapper 以外の者による修正調査の有無は問わない)
- (c) 地図精度ランク C ( $W_a = 0.1$ ): 2000年以降にプロ Mapper が調査しておらず、インカレや国際大会で用いられた実績も無い地図 (レーザー測量が用いられた場合)
- (d) 地図精度ランク D ( $W_a = 0.05$ ): 2000年以降にプロ Mapper が調査しておらず、インカレや国際大会で用いられた実績も無い地図 (レーザー測量が用いられていない場合)

2.5 参加希望登録締切日の時点で愛知県選手権が未開催の場合や、愛知県選手権が不成立となった場合は  $W_a = 0$  とする。

2.6 1次募集の選考は各クラスを第1希望としている選手のみを対象として行う。 $P_s$  の値の高い選手から順に選手数以下の最大の3の倍数人数をそのクラスの参加資格者として選出する。第1希望クラスにおいて参加資格者となれなかった選手は落選となる。

- 2.7 1次募集で落選となった選手は引き続き2次募集に応募できる。
- 2.8 2次募集の選考では全ての選手を第1希望の選手権クラスに一旦振り分けた上で、下位のクラスから順次、 $P_s$ の値の高い選手から順に選手数以下の最大の3の倍数人数をそのクラスの参加資格者として選出する。参加資格者となれなかった選手は一つ上位の選手権クラスに振り替える。但し当該クラスへの参加を不可としている選手は落選となる。この処理を男女別最上位クラス(ME,WE)の選考が終わるまで繰り返し、最上位クラスにおいて参加資格者となれなかった選手は落選となる。
- 2.9 2次募集の選考で年齢相応のクラスよりも上位のクラスを第1希望としている選手が落選となった場合は、その選手の第1希望クラスを年齢相応のクラスで置き換えた上で選考を最初からやり直す。
- 2.10 2次募集で落選となった選手は一般クラスに出場することができる。1次募集で落選となり2次募集に応募しない者も同様に一般クラスに出場できる。

### 第3条 選手権クラスのチーム編成

- 3.1 チーム編成は2次募集の終了後に行う。1次募集・2次募集の区別はせず両参加資格者を一括で編成する。
- 3.2 参加資格者数が6名以上の選手権クラスの第1チームの選手3名、参加資格者数が9名以上の選手権クラスの第2チームの選手3名および参加資格者数が15名以上の選手権クラスの第3チームの選手3名については参加資格者の中から競技実績等に基づき団長・監督の協議により選出する。特別な理由が無い場合は $P_s$ の値が高い順とする。
- 3.3 上記以外の選手権クラス各チームについては $P_s$ の値が高い順に選出する。但し選手から怪我・不調等を理由とする下位チームへの降格申請があった場合はチーム編成の公表前であれば原則として申請を受け入れるものとする。
- 3.4 チーム編成は原則として大会の選手登録期限の2日前までに決定・公表する。但し間に合わない場合は $P_s$ の値に基づく自動編成で仮登録を行った上で走順票提出締切の10日前までに決定・公表する。

### 第4条 連合チーム

- 4.1 1次募集では連合チームの編成は行わない。
- 4.2 2次募集に合わせて近隣都道府県の選手団代表者からの連合チームリクエストを受け付ける。
- 4.3 2次募集締切時点で参加希望登録者数が1名または2名であって、近隣都道府県からのリクエストを合わせて3名以上となる場合に連合チームを編成する。
- 4.4 連合チームの候補選手が4名以上となった場合の選手選考方法について、近隣都道府県の選手団代表者との間で事前の取り決めがある場合はそれに従う。取り決めが無い場合は愛知県の選手の中で $P_s$ の値が高い1名と、その1名を除く $P_s$ の値の高い2名(都道府県を問わない)とする。

### 第5条 一般クラス

- 5.1 選手権クラスに出場しない選手は愛知県選手団の一般クラスに応募できる。但し愛知県オリエンテーリング協会での競技者登録を要する。競技者登録の詳細は1.3節と同様とする。
- 5.2 一般クラスへの応募期限は選手権クラスの2次募集締切日と同一とする。
- 5.3 一般クラスへの応募は所定のWEBフォームを用いて行う。
- 5.4 一般クラスにおいては希望者全員が出走できる。人数が3の倍数にならない場合は選手権クラスまたは一般クラス出走者による2度目の出走で埋め合わせを行う。但しこれが実現できない場合は2走までもしくは1走のみで打ち切りとなる場合がある。

## 第6条 補欠選手

- 6.1 2次募集において第1希望以外の選手権クラスを走ることになった選手は第1希望クラスの補欠選手候補者となる。
- 6.2 2次募集の選考で落選して一般クラスを走ることとなった選手は出走を可としている全ての選手権クラスの補欠選手候補者となる。
- 6.3 愛知県選手団において一般クラスに出場する選手のうち、希望する者は選手権クラスの補欠選手候補者となれる。希望者は愛知県オリエンテーリング協会に競技者登録(ふるさと登録、学連登録可)をした上で、所定のWEBフォームを用いて選手権クラス2次募集の締切日までに補欠選手希望登録を行うものとする。
- 6.4 愛知県選手団を介さずに独自のチームで一般クラスに出場する選手のうち、希望する者は選手権クラスの補欠選手候補者となれる。方法ならびに締切は6.3節と同様とする。
- 6.5 一般クラスに出場しない者も補欠希望登録を行うことができる。方法ならびに締切は6.3節と同様とする。但し一般クラスに出場しない者が補欠選手として選ばれるのは大会申込前に欠員の発生に伴い補充が必要になり、他の補欠選手による補充ができない場合のみとする。
- 6.6 2次募集の締切後、各クラスの第1補欠選手1名ずつを下位クラスから順に以下の優先順位で選出する。 $P_s$ の値には2次募集締切日時点のものを用いる。
  - (a) 選考で落選して一般クラスを走ることとなった補欠選手候補者で他クラスの補欠選手となっていない者( $P_s$ の値が高い順)
  - (b) 愛知県選手団の一般クラスに出走予定の補欠選手候補者で他クラスの補欠選手となっていない者( $P_s$ の値が高い順)
  - (c) 愛知県選手団を介さずに独自のチームで一般クラスに出場する補欠選手候補者で他クラスの補欠選手となっていない者( $P_s$ の値が高い順)
  - (d) 選考で落選して一般クラスを走ることとなった補欠選手候補者で他クラスの補欠選手となっている者( $P_s$ の値が高い順)
  - (e) 愛知県選手団の一般クラスに出走予定の補欠選手候補者で他クラスの補欠選手となっている者( $P_s$ の値が高い順)
  - (f) 愛知県選手団を介さずに独自のチームで一般クラスに出場する補欠選手候補者で他クラスの補欠選手となっている者( $P_s$ の値が高い順)

(g) 第1希望以外の選手権クラスを走ることになった補欠選手候補者 ( $P_s$  の値が高い順)

- 6.7 5チーム以上が出場するクラスについて、第2補欠選手1名ずつを下位クラスから順に第1補欠選手と同じ優先順位で選出する。
- 6.8 各クラスの残りの補欠選手を登録可能最大数まで下位クラスから順に第1補欠選手と同じ優先順位で選出する。
- 6.9 補欠選手が登録可能最大数に満たないクラスでは、一つ下位の選手権クラスの下半分のチーム(端数切り捨て)の選手のうち、当該クラスでの出走を可としている選手(別のクラスの補欠になっている選手は除く)を  $P_s$  の値が高い者から順に登録可能最大数まで補欠選手とする。

## 第7条 欠員への対応

- 7.1 1次募集の締切後、2次募集の締切前までに欠員が発生した場合は2次募集の締切を迎えた時点で応募者の中の  $P_s$  の値が最も高い選手により穴埋めする。この穴埋めは2次募集の選考に先立って行うものとする。但し2次募集への応募者がいない場合は1次募集で選出された選手のうちの  $P_s$  の値が最も低い2名が一般クラスへの振り替えとなる。
- 7.2 2次募集の締切後、チーム編成の決定前までに欠員が発生した場合は補欠選手により補充する。補欠選手の優先順位は第6条で選出した通りの順番とする。補欠選手による補充ができない場合は  $P_s$  の値が最も低い2名(1次募集・2次募集の別を問わない)が一般クラスへの振り替えとなる。但し一般クラスへの出場を不可としている選手は欠場となる。
- 7.3 チーム編成の決定後、大会申込前に発生した欠員で、補欠選手による補充ができない場合には最下位チームの選手2名は一般クラスへの振り替えとなる。但し一般クラスへの出場を不可としている選手は欠場となる。
- 7.4 大会申込後に発生した欠員で、補欠選手による補充ができない場合には最下位チームの選手2名はそのまま選手権クラスを走ることができるが、第3走者不在のためチームとしての成績は付かない。
- 7.5 チーム編成の決定後、大会前日までに各クラスの最下位以外のチームで欠員が発生した場合、一つ下位のチームの中で  $P_s$  の値が最も高い選手の繰り上げにより補充する。
- 7.6 大会当日に各クラスの最下位以外のチームで欠員が発生した場合、一つ下位のチームの同一走順の選手の繰り上げにより補充する。
- 7.7 チーム編成の決定後に各クラスの最下位チームで欠員が発生した場合、補欠選手により補充する。補欠選手の優先順位は第6条で選出した通りの順番とする。
- 7.8 大会直前に生じた欠員等で下位チームからの繰り上げや補欠選手による補充に伴う走順変更に当該選手の大会会場への到着・出走準備が間に合わない場合は次点候補者の繰り上げ・補充で対応する。
- 7.9 複数の欠員が発生した場合、連絡のあった順に上記の対応を行う。但し1次募集終了後、2次募集締切前までの欠員については2次募集締切を待って一括で対応する。

## 第8条 走順

- 8.1 各チームの選手(いずれか1名)は所定のWEBフォームにより希望走順の登録を行う。登録の締切は大会主催者が定める走順票提出締切の3日前(24時必着)とする。この期限内に希望走順の登録が無いチームは $P_s$ の値が下位の選手から順に1走、2走、3走の順となる。
- 8.2 希望走順の登録後に欠員の発生に伴うチーム編成の変更が生じた場合、各チームとも原則として交代選手が空き走順に入るものとし既存選手の走順は変更しない。これと異なる走順を希望するチームは新しい希望走順を下記の期限までにWEBフォームより登録するものとする。
- (a) 走順票提出前のチーム変更の場合:大会主催者が定める走順票提出締切の3日前の24時(必着)
- (b) 走順票提出後のチーム変更の場合:大会前日の21時(必着)
- なお、(b)のケースにおいて当該チームの選手少なくとも一名と団長または監督が同一の宿舎に前泊する場合は現地での口頭での伝達をもってWEB入力に代えることができる。
- 8.3 希望走順の登録後に欠員の発生に伴い選手数が1名または2名のチームが発生した場合、原則として当初の希望走順から順番は変えずに前方の走順に詰める。これと異なる順番を希望する場合は前項と同様の期限までにWEBフォームより登録を行うものとする。

## 第9条 参加費の補助

- 9.1 選手権各クラスの第1チームの選手には愛知県オリエンテーリング協会より参加費の全額を補助する。
- 9.2 第1チーム以外で選手権クラスに出場する選手、ならびに選手権クラスの補欠を兼ねる一般クラス出場選手に対しては参加費の半額を補助する。
- 9.3 他団体・機関から上記と同額もしくはそれ以上の額の参加費補助を受けられる選手はそちらを優先とし、愛知県オリエンテーリング協会からの参加費補助は行わない。

## 第10条 附則

- 10.1 本規程は2018年度の全日本リレーオリエンテーリング大会より適用する。
- 10.2 本規程で想定しない事態が発生した場合は団長・監督・当事者の協議により解決を図るものとする。
- 10.3 本規程の改訂は全日本リレーオリエンテーリング大会終了後、翌年の参加希望登録受付開始前までの期間に、前年度および次年度の団長・監督の議により行う。愛知県オリエンテーリング協会理事会の承認を要する改訂がある場合には理事会に諮るものとする。

2016年5月31日	全日本リレー愛知県選手団	監督	前田裕太	制定
2017年7月31日	全日本リレー愛知県選手団	監督	前田裕太	改訂
2018年7月14日	全日本リレー愛知県選手団	監督	前田裕太	改訂